

会 議 録				
平成23年度第7回 社会教育委員の会議	日 時	平成24年1月18日(水) 午前9時30分～11時30分	場 所	小金井市役所第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	伊藤、倉持、小林、佐野、樹、中村、本川、本多、松田 各委員 欠席 田尻委員		
	その他	天野生涯学習部長、尾崎生涯学習課長、宮腰スポーツ振興担当課長、田 中図書館長、大関公民館長		
	事務局	林生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 協議事項				
(1) 平成23年度小委員会委員及び日程について				
(2) その他				
2. 報告事項				
(1) 平成23年度成人の日記念行事について				
(2) 蔵書点検に伴う図書館特別休館について				
(3) その他				
<p>(1) 平成23年度小委員会委員及び日程について (本川議長)</p> <p>第7回今年初めての社会教育委員の会議を開催する。それでは、資料の確認から。 (尾崎生涯学習課長)</p> <p>資料の確認をする。次第、平成24年度の小金井市教育委員会の基本方針及び平成24年度の教育施策の新旧対照表をそれぞれ1部ずつ、野川駅伝の報告書、以上である。つぎに各委員のみ配付した資料を確認する。成人の日記念行事プログラム及び記念品、黄金井倶楽部の封筒、社連協会報、『月刊公民館』、『みんなの生涯学習』、花みずき、三市の学芸大学連携事業コーディネーター養成講座のお知らせ、小金井市の図書館平成22年度版、科学の祭典の報告書、三者合同会議の会議録である。ご確認いただいで、もしないものがあれば言っていただければご用意する。よろしいか。 以上である。 (本川議長)</p> <p>平成23年度小委員会委員及び日程についてということで、3月までに2回か。 (尾崎生涯学習課長)</p> <p>今年度は3月までに2回の日程を決めて頂きたい。また来年度の5回の日程及び委員も検討して頂きたい。</p>				

(本川議長)

今年度は、正副議長と、本多委員、樹委員、倉持委員であった。来年度をどうするかということである。私としては出向している委員以外にお願いしたい。

《挙手・推薦等が行われる》

(尾崎生涯学習課長)

今決まった方は、佐野委員、本多委員、倉持委員、伊藤副議長、本川議長ということでよろしいか。また、倉持委員の都合がつかない場合は、松田委員等、他の審議会への出向をしていない委員にお願いする形でよろしいだろうか。

(本川議長)

結構である。

《挙手・推薦等が行われる》

(尾崎生涯学習課長)

では、日程は平成23年度第4回が2月8日(水)午前9時30分から、第5回が3月14日午前9時30分から、平成24年度第1回が4月11日(水)午前9時30分から、平成24年度第2回が6月13日(水)午前9時30分から、ということよろしいか。

(本川議長)

よろしく願います。9月以降は、また会議の中で考えさせていただくということでもよろしく願います。では、その他。

(2) その他

(尾崎生涯学習課長)

本日お配りした小金井市教育委員会の基本方針及び教育施策についてご説明する。

まず、資料の1ページ目、基本方針についてである。文中の中段のところ、「そのために、家庭・学校・地域の教育力を高め」とあるところを、「学校」を先に、「学校・家庭・地域の教育力を高め」に改める。これは、生涯学習政策では学校区を一つの地域としてとらえていて、学校を中心として地域力の向上を図るという施策を実施していることから、施策の方針に合わせて変更するということである。

2枚目、平成24年度教育施策である。変更した箇所のみ報告させていただく。(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進の⑤について、「スポーツ祭東京2013に向けて、準備を促進させる」というところがあるが、こちらを「向けて、」の後に、「リハーサル大会を実施し、」を加えたいと考えている。次に、(6) 図書館の充実の②について、文末のところであるが、『小金井市立図書館運営方針』の見直しに着手する」とあるが、「運営方針」を改訂する」に改める。続いて、(6)の③についてである。最初のところの、「多様化、高度化する市民要望に応えるため、」を削除する。その後ろに、「平成26年度開館予定の(仮称)貫井北町地域センター図書館貫井北分室」の後に、「への市民用インターネット」以下を削除して、その後ろに「開設に向けて、本

格的準備に着手する。」に改める。続いて、(6)の④についてであるが、右側のほうであるが、こちらについては全文削除する。続いて、(6)の⑤についてであるが、こちらを④に改めて、「子供の読書活動推進のため」の後に、「引き続き」を加え、「読書環境の整備に努め、」の後に、「引き続き『おはなし読み聞かせ講習会』」を削除し、「新たに『子どもと読書に関する講座』」を加える。続いて、(7)社会教育施設の整備の④、全文削除になる。続いて、(7)の⑤は④に改めて、「(仮称)貫井北町地域センターについて、平成22年度の基本設計」とあるのを、「平成23年度の実施設計」に改め、「今年度は実施設計に着手する」とあるのを、「今年度は建設工事に着手する」に改める。続いて、(7)の⑥については全文削除し、そこに⑤に、新たに「安全・安心な施設管理のため、図書館本館の耐震診断を実施する」を施策に加える。続いて、⑥として、こちらにも新たに「震災の経験を踏まえた施設のあり方を検討する。」についても、施策に反映させたいと考えている。

変更点については以上である。よろしくご協議頂きたい。以上である。

(本川議長)

ありがとう。何かご質問、ご意見、あるか。ないようであれば、これでよろしいか。

(尾崎生涯学習課長)

これをもって、今度、3月の教育委員会にまた変更の議案を上げるような形になる。

(本川議長)

宜しく願います。

2. 報告事項

(1) 平成23年度成人の日記念行事について

(尾崎生涯学習課長)

1月9日に行った成人の日記念行事について報告する。

まず、今年度の会場についてであるが、新成人の実行委員会の協議により市民交流センターで実施することとした。その理由として、駅前という交通の利便性、そして新しい建物という新鮮さが魅力のようであった。懸念されたのが、やはり会場が狭く、式典会場が2カ所に分かれてしまうというデメリットも考えられたが、ぜひ新しい市民交流センターで実施したいという新成人の要望にこたえる形で決定した。

今回、新しい会場の開催ということで、教育委員会の管理職者を中心に、2度にわたり運営方法等について協議をした。懸念されたことは、新成人をどのように誘導し席に着いていただくかということであった。スタッフも例年の約2倍程度増員して対応した。また、初めての試みとして、入場順に今回も全席指定ということで対応した。混乱もなく誘導できたということは事前の協議がよかったかなと考えているところである。

次に、式典の内容である。オープニングは、例年、貫井囃子をお願いしているところであるが、今回は日程が合わずに、特段そういったイベント的なものは行わなかつ

た。また、来賓の方々には会場の関係で壇上に席を用意ということになった。式であるが、開会の言葉から始まり、国歌斉唱、主催者の紹介、あいさつ、来賓の紹介、あいさつの順に行い、最後に新成人の言葉をもって閉会ということになった。式典後は、昨年のサッカーJ2で優勝した、また、元旦に行われた天皇杯でも優勝を果たしたFC東京の選手、今野、ルーカス、谷澤、塩田、大活躍した4選手からのビデオメッセージを放映し、その後、抽せん会を行い、すべての式典が終了したということである。式典も大した混乱もなく、よい式典ができたと感じている。

今年の新成人の対象者であるが、平成3年4月2日から平成4年4月1日までの間に生まれた方々が対象となり、男性が643人、女性が578人、合計で1,221名ということである。そのうちの外国籍の人が41名含まれている。当日の参加人数であるが、市内在住の男性が314人、女性が294人、合計で608名であった。また、市外の方で参加された方が51名おり、合わせると659名が参加した人数である。参加率でいうと、市内在住では49.79%、市外を含めると53.97%ということで、基本的には、ほぼ昨年、おととしと同じような参加率になっている。

なお、プログラムと記念品を用意したので、お持ちいただきたい。今回、新成人が決めていただく記念品なので、中をごらんいただいて、エコに配慮したマイ箸を持ってごみ減量に協力しようというようなことで決定したようである。

中をごらんいただくと、名勝小金井桜の日ノ出桜が真ん中にデザインされていて、プログラムにも名勝小金井(サクラ)の復活事業についても記述されており、小金井への愛着なども感じてもらえればということで、このような記念品になったということである。現在、生涯学習部では、名勝小金井桜の復活事業ということで、あの辺をやっているの、それにちなんだというようなこともあるが、ちょっとそういうところも、成人になった方にご理解いただくという意味も含めてそんなような形にしていた。

(本川議長)

いろんなことを連動させてやっていくというのは、相乗効果が出ていいことかなと思う。

(尾崎生涯学習課長)

品物自体を決めたのは新成人で、エコというようなイメージでやっていただいて、少しそこに職員からのアドバイスをを入れて決定したということである。

(本川議長)

会場であるが、私たちが何で壇上なのかと今お伺いして、座席数の関係であるということが理解できた。第2会場のほうの小ホールに入られた成人も何人かいるのか。

(尾崎生涯学習課長)

約80名から100名ぐらいの間は、そちらのほうに、どうしてもスペースの関係で、そちらに行ってもらわざるを得なかった状況であった。

(本川議長)

何か出なかったか。

(尾崎生涯学習課長)

アンケートには、数件否定的な意見もあったが、件数としては多くは無かった。事務局としても式典が始まる前に新成人の副実行委員長が2名行ってあいさつをしたり、市長からのあいさつも、式典が終わった後に直接小ホールで行ったりと、一定配慮はした。

(本川議長)

全部で608名と、51名が市外の方ということだから、大ホールだけでも実施可能か。

(尾崎生涯学習課長)

600名超えると難しい。570名程度である。

(本川議長)

知らないことで済まない。市外の方というのはどういう方たちなのか。

(尾崎生涯学習課長)

基本的には、小・中学校を、例えば小金井であると、大学が、ほかのところに行って、そこから、友達がいっぱいいらっしゃるので小金井で出たいというような方々である。

(本川議長)

ご感想などないか。

(伊藤副議長)

君が代は前奏がありよかった。

(佐野委員)

新成人の方と席を同じくさせていただいて楽しかったなというか、そういう気持ちでいた。ただ、メッセージが見られなかったのが残念だったかなという気がした。去年はたしか一緒に見ることができたが、今年は退席してしまったので見られなかった。ちょっと残念。

(尾崎生涯学習課長)

会場の関係で、来賓席があるとスクリーンが映し出せないという、それで式典のみという形に今回はさせていただいた。

(本川議長)

下のホールでは見られたのか。

(尾崎生涯学習課長)

下のホールは、別途DVDで上映していたので鮮明に見ることが出来るようにした。

(中村委員)

新成人のことば、女性の方がスピーチされたが、しっかりしたすばらしい成人のメッセージをいただけたかなと、感心した。

(本川議長)

初めての試みは一番大変である。初めてのところで初めてのことをするというのは、他になければ次に進む。

(2) 蔵書点検に伴う図書館特別休館について

(田中図書館長)

図書館では、蔵書の適正な把握のため、蔵書点検を実施してきている。こここのところ毎年やっている。本年度は、本館、前原町、西之台会館図書室、移動図書館車については2月20日月曜日から2月28日火曜日までの9日間、東分室、緑分室については2月13日月曜日から2月16日木曜日まで4日間を特別休館して蔵書点検を実施する。なお、蔵書点検の結果については、また改めてご報告をさせていただく。報告は以上である。

(本川議長)

ありがとう。

(伊藤副議長)

図書館の、今のお話と関係ない話をして申しわけないかもしれないが、古くなった蔵書を多少修復されて図書館に並べておられるのか。あまりひどいものは廃刊というか、廃本されてしまうのか。

(田中図書館長)

長傷んだ本ということか。傷んだ本で修理のできるものはするが、できないものは買い換え等をするか、あるいは除籍してしまうかというふうな処理になる。

(伊藤副議長)

定期的に何年ごとにやるというわけではないのか。その都度か。

(田中図書館長)

傷んだ本については、その都度手当てをしている。あとは、蔵書点検のときに、まとめて全部点検をして、そのときにリサイクル図書といって、除籍の図書をそこで抽出をして市民の方にリサイクルというふうなことをやっている。

(伊藤副議長)

ありがとう。

(本川議長)

図書館に関して何かないか。では、その他のところ、お願いします。

(2) その他

(宮腰スポーツ担当課長)

昨日行われた野川駅伝大会について報告をさせていただく。1月15日日曜日、都立武蔵野公園野川第2調節池をスタート、ゴール地点として、武蔵野公園内をコースにした駅伝レースを実施した。委託先は総合型地域スポーツクラブのNPO法人黄金

井俱樂部である。当日の参加人数は、お手元の資料にあるとおり、116チーム、986人であった。参加チーム数、参加者人数ともに、昨年に比べて約25%の増であった。当日は、例年同様、寒い一日であったが、大きな事故もなく、無事に終了した。一方で、参加者が多くなったことにより、選手のタイムの集計に手間取って、表彰式と開会式がおくれて、参加者や来賓の皆様にご迷惑をおかけしたところがあった。来年度に向けては、これら課題を整理しつつ、引き続き参加者にとって魅力のある事業になるよう研究していきたいと思っている。報告は以上である。

(佐野委員)

私は体育協会のほうから推薦をされてこの場にいるが、25期のスポーツ推進委員を体育協会として10名、選任をして、スポーツ振興係のほうに出すようになっている。先日、その推薦についてスポーツ推進委員協議会会長より体育協会に対して意見があったという話を聞いたが、このことについてスポーツ振興担当課長は何かお聞きになっているか。

(宮腰スポーツ担当課長)

申しわけない。今の質問の経過が全然わからない。

(天野生涯学習部長)

我々も正直初めて聞いたような状況もあるので、佐野委員とも調整し状況を確認して対応したい。以上である。

(本川議長)

何かご質問、ご意見などあるか。ないようなら、出向していただいている方からのご報告をいただきたいと思う。それ以外である。

(小林委員)

報告の機会がなかったもので、過ぎてしまったが、本年度第4回の図書館協議会が、11月17日の午前中、図書館の本館であった。ちょうど期が変わるところであったので、私も第12期のメンバーとして初めて出席した。主な内容の中では、特に小金井市市立図書館運営方針について、改訂版ということでのほうから資料をいただいて、これについては11期のメンバーが了承したということで、次回以降の会議でまたこれを皆さんで検討をしていくという話が主な内容であった。以上、報告である。

(樹委員)

放課後子どもプランの会議は、前回の会議以降行われていないが、今月1月27日の金曜日に前原小学校に実地の見学というか、行かせていただくことになっている。

(中村委員)

平成26年開館予定の貫井北町地域センターの検討委員ということで出向しており、去年12月に実施設計についての話し合いがすべて終わった。終わったことを受けて、次回、3月、これが私の最後のお役目になるが、3月にそれらの話し合われた内容を印刷物にしたものを各委員に配付するということであるので、その図面をもって、皆さんにまたご説明させていただければと思う。実施設計については12月でもう終わ

り。そのまとめを3月に書面という形で配付されるということを聞いている。以上である。

(本川議長)

ありがとう。何かご質問はあるか。なければ、この委員会の視察のことである。武蔵野市のプレイスに伺うことに、一応第一希望としてはなっているが、小耳に挟んだところ、あちらは近いので、せっかくだから研修ということで、もう少し離れたところでということを考えられそうである。いつも、皆様、よくご存じの、あそこどうか、ここどうかと言っているが、候補地を考えていきたい。

(尾崎生涯学習課長)

今後に向けて、委員の方々の希望等をお伺いしたい。

(中村委員)

一つのご提案として、都の研修会等でも報告のあったコミュニティースクールの、今先進的な事例として三鷹のお話があったし、杉並もそうであるし、できればそういった施設も対象を広げて視察されてはいかがかなと思う。これは私の個人的な意見である。

(本川議長)

とにかく立派なものについては無理なので、すばらしいで終わってしまうようだともったいないから、もうちょっと地に足がついたような、一番考えられるのが、複合施設のような形で、そういう部署がきちんと置かれていて、コンパクトで選びやすい形というようなところを目指すのが一番手取り早いかなと考えさせていただいているので、そのようなところもあればというような気がする、私としてはする。

(伊藤副議長)

じっくりと話を聞ける雰囲気のところがいい。30分ぐらいで説明終わって帰ってくるのではなくて、じっくりと、あまり外部に話したくないような内容までほんとうは話を聞きたい、そのようなことを聞けるところがいいなと思っている。どこまで話してくださるかわからない。あらかじめこちらからこういう件でお願いしたいということで要望書みたいなものを出しておいて、それを読んでいただける場所がいいのかもしらんが、一番私などが懸念している問題は、立ち上げまでにどういうプロセスを経てやっていったらいいのかというような、ちょっと方法論的な話に的を絞っていただけると非常にいいかなと。ここにこういう施設があって、ここにこういうふうに器具が置いてあって、ここでこういう会議ができるという話も大事であるが、もうちょっとソフト的な面で話を聞ければありがたいなというふうに私は思っている。具体的にどこの施設がいいのかというのは、まだ私はわからないが、施設見学の意向としてはそういう形で、ソフト的な面をじっくり聞かせていただけたらいいかなと思っている。以上である。

(佐野委員)

財政規模というか、予算というか、同じような予算でそういうものができ上がって

いるようなところに行ってみたいなど。武蔵野さんとか三鷹さんというのは、生涯学習に対する予算づけというのが小金井とちょっと違ってきているのではないかなと思うので、同じような予算規模で、なおかつそういう、そういうものが立ち上がっているようなところに伺ってみたいなという感じもちょっとする。さっきもお話の、あまり立派なところに行っても、感心して帰ってくる。何か寂しさを覚えるというか、そんな形になるのも嫌だなと思う。

(本多委員)

環境が似ているところ、公民館がすごく地盤として立ち上がっているような地域に似たところがもしあると具体的にわかりやすい、小金井はやはり地盤の立ち上がり方が、町内会という形で動いているので、個々に独立した分館がいっぱいあるような環境の中で立ち上げたようなところがもしあればと思う。

(本川議長)

そんなところで探していただいて、お願いしてよろしいか。

(尾崎生涯学習課長)

いろいろご意見をいただいたので、それらを参考にしながら事務局でもしてみたいと思う。

(本川議長)

忙しいことを恐縮であるが、よろしく願います。時間がまだ少しあるので、前回11月に三者会議をさせていただいたが、その後、あまりないとは思いますが、会の組み立て方としてお願いさせていただいた生涯学習支援センターの話を会議の中に少し入れていただければ、それに対して、情報ネットワークの構築に向けてという、それぞれの立場でというようなことをお願いさせていただいたが、そのようなことで、図書館のほうでは話がいけそうか。公民館のほうではそういう話がいけそうかということをお尋ねしたいなど。実際にはあまり時間が経過していないので、そこまでいっていないかもしれないが、館長としてどんな感じか、伺えればと思う。

(田中図書館長)

今お話しの出た生涯学習支援センターの関係であるが、前回以降、その話題を図書館協議会のほうではしていない。今後は、さっきお話のあったように、図書館の運営方針のほうは解決されたので、それに沿ってお話をご説明していく中で、そういった部分も含めてお話はできるのかなと思っている。

以上である。

(本川議長)

ありがとう。公民館のほうはいかがか。

(大関公民館長)

前は都合で出席できなかったが、会議録をぱらっと見させていただいて、まだ具体的に、公運審の会議が今月の27日にあるが、そこで佐々木委員長に仕切ってやっていただいた関係で、そういったお話が出るのかなという話、というふうに考えて、

事務局としてはこれについてどうするというような検討はまだしていない。

(本川議長)

お尋ねした理由は、今後に向けてそういう部分を後押ししていただければ大変ありがたいなと思うので、会議の中で話題として出ないようであれば、ちょっとそのところを出していただくようなことをしていただくお願いをしていいのかどうかちょっとわからないが、進めるためにはそういうことも必要かなと思わせていただいたので、お願いをさせていただいた。よろしく願います。話を戻すが、大体いつごろが見学としてはよろしいか。

(尾崎生涯学習課長)

最近では5月が多かったが、全日程、会議室は押さえてある。

(本川議長)

2月は本会議があるので、その場で決定したいと思う。それでは、時間前であるが、ほかになれば。

(天野生涯学習部長)

報告がある。向井教育長が24年1月13日付で辞職願を提出されて、教育委員会のほうで辞職を同意という形になっている。特に事情等はお聞きしていないので、事実だけご報告ということでご理解いただきたいと思う。以上である。

(本川議長)

手続はどうなるのか。

(天野生涯学習部長)

現在は教育長職務代理という形で学校教育部長が務めている、不在期間を。実際、議会での同意案件であるので、議会での手続を踏んで、新たな教育委員、教育長というような形になると思う。

(本川議長)

では、第7回社会教育委員の会議を閉会とする。

以上